

CCMC 2019

Kyoto

Contemporary Computer Music Concert

マルチ・チャンネル・スピーカー・オーケストラによる
アコースモニウム・ライブ

Co-program 2018 カテゴリーD「KAC セレクション」採択企画

2019年3月8日 (金) 18:00

9日 (土) 17:00

京都芸術センター フリースペース

主催：音と音楽・創作工房116 (ACSM116)

共催：京都芸術センター



プログラム

2019年3月8日(金) 18:00

18:00 第1部 プレトークイベント「アコースモニウムってなあに?日本におけるアコースマティック音楽」 吉原太郎、石上加寿也、柴山拓郎、成田和子

19:00 第2部 アコースモニウムのデモンストレーションとフランスの電子音響音楽アコースマティック作品の上演

20:00 第3部 ドキュメンタリー映画上映 ピエール・シェフェール「音楽のレッスン:ミュージック・コンクレートから音楽そのものへ」ナット・リレンシュタイン監督
「La leçon de musique de Pierre SCHAEFFER : de la musique concrète à la musique même」(フランス語、日本語字幕)

2019年3月9日(土) 17:00

17:00 第1部 アコースモニウム・ライブ・コンサート 1 Concert Acousmonium-Live 1 成田和子、山口真希子、上野航、高野大夢

18:00 第2部 アコースモニウム・ライブ・コンサート 2 Concert Acousmonium-Live 2 柴山拓郎、坂野伊和男、かつふじたまこ、石上加寿也

19:15 第3部 ドキュメンタリー映画上映 ピエール・シェフェール「音楽のレッスン:ミュージック・コンクレートから音楽そのものへ」ナット・リレンシュタイン監督
「La leçon de musique de Pierre SCHAEFFER : de la musique concrète à la musique même」(フランス語、日本語字幕)

出演者略歴

吉原太郎 /YOSHIHARA Taro

1968年東京生まれ。昭和音楽大学作曲学科卒業、山梨大学大学院修了。作曲を豊住竜志、藤原嘉文、電子音楽を成田和子に師事。2001年INA-GRMフランス国立視聴覚研究所電子音響音楽制作アトリエへ参加。作品はブルージュ国際電子音楽創作フェスティバル(2005, フランス)、ACOUSMA(2013,フランス)、ICMC2014入選(ギリシャ)、ラジオ、テレビ等で紹介される。主宰する富士電子音響芸術祭においては53チャンネル/70スピーカーによる大規模アコースモニウム構築(2014)を手掛けるほか、オリジナル無指向性スピーカー「ION SPACE」(株式会社ソーケン)、ツイーターエンクロージャー(甲斐の匠・小田切)、音場空間コントロールシステム「NILE」(株式会社多間)の開発に携わる。現在、日本電子音楽協会会員、音と音楽・創作工房116運営委員、富士電子音響芸術祭芸術監督、山梨大学教育学部講師、同教育研究開発センター講師。

石上加寿也 /ISHIGAMI Kazuya

1972年大阪生まれ。幼児期からテープレコーダーで遊び、小学生の時にはカットアップ・コラージュもどきの作品を作って楽しむ。高校生の時にミュージック・コンクレートとノイズミュージックに出会い作品を作り始める。DR国営放送(ドイツ)での委嘱作品をはじめ、WDR国営放送(ドイツ)、FUTURA国際電子音響音楽祭(フランス)、MUSLAB国際電子音響祭(メキシコ)、SILENCE国際電子音響音楽祭(イタリア)、ICMC国際コンピュータ音楽会議2015(アメリカ/テキサス)などで作品上演をおこなう。自主レーベル「NESU-318」を主宰し、これまでに100タイトルを超える作品をリリースする。

柴山拓郎/SHIBAYAMA Takuro

1971年東京生まれ。東京音楽大学・同大学院修了後、2010年東京芸術大学大学院美術研究科後期博士課程(先端芸術表現領域)修了。修士(音楽)、博士(美術)。作品は、スロベニア、フランス、スペイン、ドイツ、アメリカなど各国で上演・展示されている。電子音響ビジュアルプロジェクトを主宰し、多様な人々とコンピュータを用いた実験的な音楽を共創する活動を展開。平成29年度文化庁新進芸術家海外研修員としてZKMで研究と制作を行い、2018年6月、同センターにおいて講演と個展コンサートが実施されたほか、サウンドインスタレーションが展示された。東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系教授のほか、国際基督教大学非常勤講師を兼任。

成田和子/NARITA Kazuko

電子音響音楽との出会いは、1980年代にパリ国立高等音楽院で、ミュージック・コンクレートの伝統を引き継ぐ電子音響音楽作曲クラスで学んだ時である。オープンリールに巻かれたテープを切り貼りして、テープデッキ3台を用いてミキシングを行なった。スタジオなど制作環境に恵まれなかったため電子音響音楽の作曲を中断し、アコースティック作品の作曲に専念する。1997年からコンピュータを用いて電子音響音楽の作曲を再開、多数の作品が日本およびヨーロッパのフェスティバルやコンサートで上演されている。近作の現代オペラ「YUMÉ」(フランス政府委嘱作品)の初演/再演(パリ、ランス、ツアーロン)は話題を呼んだ。音と音楽・創作工房116運営委員、同志社女子大学学芸学音楽学科教授。

日時:2019年3月8日(金)、3月9日(土)

会場:京都芸術センター フリースペース

チケット・インフォメーション

一日券 / ¥ 1,500 二日通し券 / ¥ 2,000

取扱い:京都芸術センター(窓口 / 10:00~20:00)

予約・お問い合わせ:ACSM116事務局

acsm116@gmail.com

山口真希子/YAMAGUCHI Makiko

これまでピアノを河野美砂子氏、船曳千智氏、山上明美氏に、そして和声、対位法を葛西敏子氏に師事。大阪音楽大学ピアノ科卒業後、2009年に渡仏、パリ国立高等音楽院作曲書法科に入学、同科を2014年に最優秀の成績で卒業。在学中より様々なコンサートに編曲家およびピアニストとして参加。2017年フランス、ブーローニュ音楽院作曲科卒業。2017年よりフランス、パンタン市音楽院の電子音楽科に在籍し、マルコ・マリニ(Marco Marini)とJonathan・プラジェ(Jonathan Prager)に師事した後、帰国。2018年4月より同志社女子大学嘱託講師および相愛中学校作曲科講師。

上野航/UENO Wataru

大阪芸術大学音楽学科卒。都山流尺八を湯浅富士山師に、明暗対山派ほか虚無僧尺八を泉川獅道氏より学ぶ。日本伝統音楽保存普及グループ「吹けっ!邦楽の風!」の主要メンバー、国際派尺八デュオ「黒船」のサポートメンバーなどとして、伝統的な日本の音を追求めた音楽活動を展開。當麻寺中之坊において「導き観音祈願会」に参加し、献奏を続けている。尺八という楽器のシンプルさから滲み出る「カオスに感じるもの」を、電子音響での表現にも活かせないかと模索中。

高野大夢/TAKANO Hiromu

音楽作品が成立するという意味について、哲学・言語・情報・認知などの視点を交え検討する試みとしての創作研究を行う。電子音響音楽のコンサートにおける音響システムのエンジニア/インタープリターとしても活動し、国内外の数多くの作曲家の作品上演に携わる。ほか、映像コンテンツやゲーム、商業施設等における音楽制作・サウンドデザインなど多数。賞歴にCCMC Contemporary Computer Music Concert入選、東京国際歌曲作曲コンクール入選、ICMC International Computer Music Conference公募入選など。日本電子音楽協会会員。

坂野伊和男/BANNO Iwao

1959年愛知県生まれ。九州芸術工科大学 芸術工学部 音響設計学科 卒業。同大学院修了。1986年NHK日本放送協会入局。主にドラマ、音楽のミキシングに従事。2016年よりNHKメディアテクノロジー関西支社勤務。CCMCには公募も含め2012年から参加している。

かつふじたまこ/KATSUFUJI Tamako

音作家。90年代半ばより詩や言葉を用いた音作品やシアターピースの制作を始める。2000年フランス国立視聴覚研究所INA-GRMにて作曲を学ぶ。何気ない日常から小さな奇跡(音)を拾い集め、紡ぎ出されるその作品は、国内の他、フランス等海外のフェスティバル、ラジオ番組でも度々上演され好評を得ている。一方、鍵盤ハーモニカや、ビー玉、ペットボトルなどの日用品で奏でる繊細な生音と、エレクトロニクスとの融合で唯一無二の音世界を作り出すライブ演奏の他、「日用品オーケストラ」ワークショップも展開。Festival FUTURA(仏)よりの作品委嘱、パリ、ベルリンでのライブ演奏など、その活動はヨーロッパへも広がっている。

<http://hello-tsukineco.jimdo.com>

京都芸術センター
〒604-8156
京都市中京区室町通塙菜師下 山伏山町 546-2
TEL 075-213-1000 FAX 075-213-1004

<http://www.kac.or.jp/>
地下鉄烏丸線「四条駅」、阪急京都線「烏丸駅」
22番・24番出口より徒歩5分。
駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

